

第2学年 英語科 学習指導案

<p>単元 (題材)</p>	<p>Lesson 6 What's Universal Design ? (「TOTAL ENGLISH 2」 学校図書)</p>
<p>目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりのことについて英語で表現しようとする意欲をもつようになる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ○SVOOの構文をとる動詞、「なぜ」という疑問への答え、SVO (V≠be) などを用い、身のまわりのことについて単なる描写にとどまらず、より幅のある表現ができるようになる。 (表現の能力) ○SVOO、why を用いた疑問文とその答え方、SVO (V≠be) について理解する。 (理解の能力) ○ユニバーサルデザインについて書かれた英文の内容を理解する。 (理解の能力) ○だれもが安心して生きていける世界づくりをめざす一つの方法としてユニバーサルデザインがあることを知り、グローバルな視点でものごとを考えるきっかけになる。 (言語や文化についての知識・理解)
<p>指導上の 立場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○Aコース(18名男女9名ずつ)とBコース(Aコースと同様)に分かれる。各コース、18名を6班(1班3人)の意図的に構成された班に分け、授業の中でグループワークや、教え合い学習を取り入れることで、一斉授業よりも発言の機会が増え、また、班での教え合いにより、英語に自信のない生徒が質問しやすい雰囲気づくりができています。全員が、少しでも積極的にコミュニケーション活動へ関わられるよう支援したい。 ○事実の描写に加えて、「なぜ」や「～だと思ふ」ということを加えてより幅のある表現をするためには、まず、「自分の考えを持つ」ことが必要であり、その点に苦手意識を感じている生徒が多いので、適切なヒントを出しながら、できるだけ自分で考えるよう支援したい。
<p>指導 計画</p>	<p>全7時間扱い</p> <p>第一次 Lesson 6 - A SVOO … 2時間(本時)</p> <p>第二次 Lesson 6 - B why を用いた疑問文とその答え方 … 2時間</p> <p>第三次 Lesson 6 - C SVC … 2時間</p> <p>第四次 Lesson 6 の文法事項の復習 … 1時間</p>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○評価規準 <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのことについて、自分なりに英語で表現しようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・SVOOの構文をとる動詞、「なぜ」という疑問への答え、SVO (V≠be) などを用いて、身のまわりのことについて表現することができる。 (表現の能力) ・だれもが安心して生きていける世界づくりをめざす一つの方法としてユニバーサルデザインがあることを知り、グローバルな視点をもつことができる。 (言語や文化についての知識・理解) ○Cと評価した生徒に対する手立て <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少ない場合は、できるだけ例文で用いた語を用いて自己表現するよう助言する。 ・文法事項の理解が不十分な場合は、文型の骨格となる部分は教師が提示して、自己表現できる部分を生徒に考えるように助言する。

本 時 案 (第一次)

目 標	<p>○ SVOO の構文をとる動詞を使って、身近なことについて英語で話そうとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>○ SVOO の構文をとる動詞の使い方に慣れ、表現できるようになる。(表現の能力)</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項・準備物など	評価の観点・規準・方法など
<p>1 英語で、あいさつと簡単な会話をする。</p> <p>2 SVOO の構文をとる動詞 give の使い方に慣れる。</p> <p>①「～に…をあげる」をいう文を聞いたリ、言ったりして慣れる</p> <p>②絵カードについて「～に…をあげる」を使って表現する。</p> <p>③「～に…をあげる」を使ってクラスメートとやりとりする。</p> <p>3 「～に…をあげる」を使って英作文する。</p> <p>4 まとめをする</p>	<p>○絵カードの人物に何をあげると喜ぶか推測させる。【ALT & JTE】 give を使った文に耳が慣れようにできるだけ英文を繰り返す。【ALT】</p> <p style="text-align: center;">絵カード</p> <p>○はじめは、数名の生徒を指名して全体に例を示し、慣れてきたら各班で表現し、正しく言えるかをお互いに確認しあう。【ALT & JTE】</p> <p style="text-align: center;">絵カード</p> <p>○絵カードの人物の名前を使わず、人称代名詞にして、表現してみる。【ALT & JTE】</p> <p>○ him / her 以外の人称代名詞を確認する。【JTE】</p> <p>○ワークシートを使って、「～に …をあげる」という表現をクラスメートとのやりとりの中で何度も繰り返し、定着するようにする。【ALT & JTE】</p> <p style="text-align: center;">ワークシート</p> <p>○ give を用いて、「友だちや家族にプレゼントするなら」、という身近な話題にしてアイデアが浮かびやすいようにする。和英辞典を教室に用意し、利用できるようにする。【ALT & JTE】</p> <p style="text-align: center;">ノート</p> <p>○ 3 で生徒がノートに書いた文を例文として、重要文のまとめをする。give 以外の動詞についての補足をしたワークシートをノートにはるように指示する。【JTE】</p> <p style="text-align: center;">まとめのワークシート</p> <p>○ワークの基本問題をし、答え合わせをして理解できたか確認する。【JTE】</p> <p style="text-align: center;">ワーク</p>	<p style="text-align: center;">A L T</p> <p style="text-align: center;">A コ ー ス</p> <p>○意欲や興味をもって取り組んでいるか。(関心・意欲・態度)〈観察〉 ・班内での教え合いが機能しているか。していなければ、教師が入って支援する。</p> <p style="text-align: center;">A L T</p> <p style="text-align: center;">B コ ー ス</p> <p>○伝えたいことを表現できているか。(表現の能力)〈ノート・観察〉 ・個別にアドバイスし、書き終わったら、班内で発表し合うことによって、まちがい等の確認をする。</p>